

史料群番号 77

史料群名	すずき きへいじ 鈴木喜平治家文書		旧所蔵者	鈴木喜平治
探訪時住所	和歌山県西牟婁郡潮岬村			
現在の住所	和歌山県東牟婁郡串本町潮岬			
探訪年月	昭和26（1951）年7月			
史料の年代	明和8（1771）年～昭和22（1947）年	史料の 総点数	（約1150点）	
年代の内訳	近世 70点/近代 1075点/不明 5点	筆写稿本	なし	
既刊行目録	なし			

収蔵にいたる経緯

探訪時の書類には「文書15束 帳簿5冊（外袋入2） 計20点」とあり、これらの史料は後に返却されたとみられる。現在中央水産研究所に所蔵されている同家の古文書は、帳簿だけでも300点近くあり、全く書類に記載されている内容と合致しない。「漁業制度資料目録」には記載がなく、現在のところ詳細は不明である。

史料群の概要

探訪地の潮岬（しおのみさき）は、串本から南に突き出た陸繋島の先であり、本州の最南端である。近世には牟婁郡上野（うわの）浦があつて、明治22年に出雲浦と合併して西牟婁郡潮岬村となる。昭和30年には串本町の一部になる。

近世の史料は、大半が借用証文で、漁業、土地等に関する史料はみられない。近代の史料のうち、多くを占めるのが漁業関係で、上野浦漁業組合の設立・免許・規約に関するもの、経営では巾着網、鮫網、大敷網などの水揚帳が相当数含まれている。

その他「山林見積帳」「草刈工覚帳」など林業に関する帳簿類が多くを占め、漁業・漁船に関する会社の経営に関する史料も見える。

